

福井県の文化活動振興に関する提言書

「文化」というものはその土地に住む人々のアイデンティティであり、最も重要なものであると言えるが、近年その存在が有耶無耶にされがちである。また、「文化」にも多くの種類があるが、それらに共通して言えることは「人々の心の根底にあるもの」ということである。

これら「文化」は様々な要因により文化の保存・継承が難しく、また文化活動が制限されている。そのような状況を打破し、福井県が文化の県として活性化するよう、様々なアプローチを行っていかねばならないと考える。

また、「幸福度ランキングNo.1」を謳っている福井県であるが、文化分野に関しては全国でも下位である。

そこで、福井県の文化活動振興に関する施策について、以下の通り提言する。

- 1 福井県内に存在する「民謡」「新民謡」を収集し、音源や踊りなどの保存を図ること
- 2 「ふるさと教育」において「民謡」「新民謡」の活用を行い、児童生徒の「愛郷心」の醸成を県が音頭をとって行うこと
- 3 「文化」に関するテーマを1つ決め、それに関する事業を年度毎に行っていくこと（福井の方言愛着ましましプロジェクトの様に）
- 4 福井が舞台のサブカルを活用して福井の魅力をPRすること
- 5 県内のポップカルチャー・サブカルチャーでの活躍を望んでいる人材に対して、練習機会、発表機会等の創出、支援を行うこと
- 6 新幹線駅舎等に福井にちなんだオリジナリティ溢れるデザインのストリートピアノなどをおき、街全体で音楽に触れられる機会を作ること

令和5年8月1日

福井県知事 杉本達治様

福井県立敦賀高等学校
チーム「ONDOツルガ」
森野巧巳
中田哉音
森口蓮叶